

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第 10 回「水素安全対策高度化」特別専門委員会
開催日時	平成 30 年 2 月 6 日(火) 13:30~15:30
開催場所	三菱総合研究所 CR-D 会議室
参加人数	19 名 村松主査、門脇幹事、小川委員、中村委員、佐々木委員、西村委員、中田委員、松井委員、新山委員、オブザーバー1 名、事務局(発表者含む)9 名
議 事	<p>1. 主査挨拶 村松主査から今回の委員会の趣旨説明があった。</p> <p>2. 前回議事録確認 事務局が前回議事録の説明を行った。</p> <p>3. 爆発燃焼照合解析の視点と現状について 事務局が、現在実施する爆発燃焼照合解析の現状と視点について説明を行った。 ・先行解析があるものについては、その比較も行いながら取りまとめる。 ・最終成果を意識した照合解析の取りまとめを行う。</p> <p>4. 一般公開セミナー「原子力のための水素安全対策高度化」開催報告 事務局が一般公開セミナーの開催報告を行った。 ・一般公開セミナーで実施したアンケート結果は事務局より関係者に共有する。</p> <p>5. その他 ・今年度の特別専門委員会は今回が最後であり、次年度の開催については事務局よりご連絡する。</p>
備 考	

平成 29 年 11 月 9 日

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第 9 回「水素安全対策高度化」特別専門委員会
開催日時	平成 29 年 11 月 7 日(火) 13:30~15:30
開催場所	原子力機構東京事務所 第 1 会議室会議室(富国生命ビル 20 階)
参加人数	17 名 村松主査、門脇幹事、小川委員、成宮委員、谷本委員、中田委員、西村委員、鈴木委員、新山委員、オブザーバー 2 名、事務局(発表者含む)6 名
議 事	<p>1. 主査挨拶 村松主査から今回の委員会の趣旨説明があった。</p> <p>2. 前回議事録確認 事務局が前回議事録の説明を行った。</p> <p>3. 一般公開セミナーについて 事務局が一般公開セミナーの準備状況について説明を行った。 ・原子力学会事務局等へ告知を行う。 ・各委員からも開催の周知を行う。</p> <p>4. 水素安全高度化ハンドブック第 2 版について 事務局がハンドブックの位置づけや目次案について説明を行った。 ・最新知見を収集し反映すること、体系的に整理することの 2 点を説明すべき ・ハンドブックの使い方は安全性の向上であり、最善を尽くしていくということをつかりやすい言葉で記載することが重要</p> <p>5. その他 ・次回の特別専門委員会開催の日程調整を行った。</p>
備 考	

平成 29 年 9 月 4 日

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第 8 回「水素安全対策高度化」特別専門委員会
開催日時	平成 29 年 8 月 29 日(火) 13:30～15:30
開催場所	三菱総合研究所 4 階 CR-A 会議室
参加人数	21 名 村松主査、門脇幹事、小川委員、山中委員、谷本委員、中田委員、中村委員、西村委員、藤井委員、松井委員、オブザーバー3 名、事務局(発表者含む)8 名
議 事	<p>1. 主査挨拶 村松主査が本委員会の趣旨説明を行った。</p> <p>2. 委員自己紹介 各委員から自己紹介があった。</p> <p>3. 前回議事録確認 事務局が前回議事録の説明を行った。</p> <p>4. トピックス 産業界からの CFD 水素統合解析システムの用途(三菱重工 福田) ・シビアアクシデントによる水素の分布や拡散に関する CFD 解析を実施したい。 ・局所領域内における水素濃度の裕度を明確にしたい。</p> <p>5. 水素安全高度化事業の概要(原子力機構 日野) 委員からは以下の発言があった。 ・ハンドブックは広い視野を持って系統的に整理すべき。 ・複数の事故シーケンスを検討していくことが重要である。</p> <p>6. 一般公開セミナーの準備状況 ・事務局が一般公開セミナーの準備状況について説明を行った。</p> <p>7. 全体討議 ・解析評価コードの現状及び課題、問題意識について討議を行った。</p>
備 考	